

## 平成27年度登別市立図書館 運営方針と重点施策

### 1. 運営方針

「地域を支える情報拠点」としての図書館の役割を認識し、「地域の社会関係資本」「教育的資源」としての機能を積極的に果たす。

○図書館の目的である「教養・調査研究・レクリエーション」（図書館法第2条）の3つについて、偏ることなく全般的・網羅的な充実を図る。

○図書館が長期にわたって利用されるには、「空間（施設）・人（職員）・資料」の3要素の充実が必須である。

加えて、レファレンスサービス・リクエスト対応など、図書館サービスの基本を忠実に実行する。

○これからの図書館は、文化教養機能に加え、課題解決支援機能の充実が求められている。

課題解決支援機能とは、地域の課題解決や市民の生活課題の解決を図書館が情報提供によって支援するもので、そのためのサービスの構築を図る。

○地域社会のニーズに基づき、資料の多面的な収集・提供に努める。

○子どもからお年寄りまで、だれもが利用しやすいよう施設・設備の改善を図る。

○市内のどの地域に住む人も図書館が利用できるよう市内全域サービスの強化を図る。

○市民が気持ちよく利用できる居心地の良い場となるよう一層のサービス向上に努める。

○市民が読書に親しむ環境づくりを推進するため、各種事業を持続的に展開する。

○各種事業等を通じ、市民の図書館に対する認知度を高めることにより、市民の側が図書館に能動的に係われる環境を構築する。

○図書館と市民の関係を双方性なものになるよう努め、市民の知識・技術・善意を図書館活動に提供してもらえよう、地域に根ざした図書館への成長を図る。

○すべての市民に、「居場所」と「出番」を提供・創出する。

○ボランティア団体との連携を深め、彼らの能力と意欲を積極的に取り込み図書館の活性化を図る。

○コンピュータが苦手な情報弱者への情報リテラシー（情報活用能力）の育成支援に取り組む。

○すべての市民に図書館の魅力や有用性を周知し、暮らしの中で図書館がもっと身近なものになるよう、利用教育と啓発普及に努める。

## 2. 重点施策

### ○施設

アーニス分館の利用状況と利用者の利便性の向上のため、休館日を再検討する。

### ○資料

#### 蔵書の適正化

市民の多様なニーズに応える多様な資料の収集と整備を行うとともに、適正な蔵書数による魅力ある書架を創造する。

- ・書架の飽和状態の解消のため資料の除籍を進める。
- ・2階書庫及び西小閉架書庫の除籍と整理を行う。
- ・除籍資料の有効活用を図る。
- ・参考資料コーナーを開設する。
- ・アーニス分館に男女共同参画コーナーを開設する。

### ○サービス

#### ➤ レファレンス

地域や住民が抱える問題の解決を支援するため、レファレンスサービスの充実を図り、利用促進のための周知に努める。

- ・オンラインデータベースの提供を始める。
- ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスと歴史的音源の提供を始める。

#### ➤ 事業・展示

図書館への関心や興味を高めるとともに、市民が本に親しむ環境づくりに寄与することを目的として各種事業や展示を継続的に展開する。

- ・文化講演会やライブラリーツアー、ビブリオバトル、わらべうた、などの多様な事業を継続して実施する。

#### ➤ 「第2次登別市子ども読書活動推進計画」の取組

- ・ブックスタート（子育てグループ所管）への支援・協力を行う。

#### ➤ 情報リテラシーサービス・利用教育

- ・図書館の活用講座をシリーズで開設・実施する。